



しみんけんきゅうニュース

発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

【目次】

- P2 TOPICS
- P3 各チーム活動報告
- P4-5 マイ食器啓発 AT
- P6 主担研究員コラム
- P7 市民研究所通信
- P8 1・2月の予定



11/19 もったいないバザールを開催しました



もったいないバザール



おもちゃのかえっこ

2023年11月19日(日)
10:00~14:00(雨天中止)

企業ブース



動画で紹介



カードゲーム
各体験
修理コーナー



わたしから

TOPICS

～くるくる環境スクール バスツアー～

くるくる環境スクール第7回講座「京都里山 SDGs ラボ」へバスツアー
スクール生含め26名が参加した。到着後、浅利准教授からの歓迎の挨拶を受けた後
2班(ハードとソフト)に分かれて周辺のゴミ収集をおこなった。森林の清々しい川沿
いハードコースを選択したが、行楽者のポイ捨ての紙おむつなど結構ゴミが落ちて
いた。ゴミ収集後、京都里山 SDGs ラボでジビエカレーの昼食を取り、施設見学を
行った。小学校の跡地で教室が多くあり、展示企画やテレワークスペースなど、沢
山のラボがあり、興味を持って見学した。企業の参加、京都大学の SDGs シンポジ
ウムをおこなっており、プラザに無い活動を行っていて、とても参考になった。



(市民研究員 綿谷一)

～もったいないバザール～

11月19日(日)晴天に恵まれ開催されました。万博ごみゼロウオークに
代わって初めての取り組みでした。子供たちが自主的に運営するおもちゃの
『かえっこバザール』を中心に、企業や団体が3Rの推進を啓発できるブースを
組み入れるなど、幅広いイベントになりました。

来場者241名、参加数は300名と従来とかわらず大変な盛況でした。

いつものイベントに比べると若い家族連れが多くみられ、おもちゃ病院も30
人を超える患者さんが訪れ大変好評でした。

ワークショップでは洗濯機の解体を多くの人が見学し、感動していました。

なお、プラザの工房やブースにおける研究員による3R啓発活動は多くの人に
喜ばれていました。

(市民研究員 茶園征也)



プロジェクトチーム (PT)・アクションチーム (AT) 活動報告

市民とお店をエコでつなぐ PT

先日見学した関西リサイクルシステムズについて、見学内容をパワーポイントとしてまとめ、ナレーションを加える作業をしました。また、もったいないバザールでは「ふろしきの包み方」のブースを出してレクチャーしました。

吹田ごみゼロシステム研究 PT

もったいないバザールにおいて、雑がみリサイクルについての啓発活動を行いました。親子連れなど、結構多くの方が体験してくれました。親子で会話しながら、「こうやって作ったら、いいんだ」「家でやったらいいよね」などと話しながら取り組んでくれる様子を見て、啓発できた実感があり、よかったですと思いました。

身近な環境を調べよう PT

寒くなってきましたが、市内の6つの池の調査を続けています。もったいないバザールでは、池で観察できた動植物やプランクトンなどの写真を展示しました。



SDGs 啓発 PT

11月22日(水)吹田第一小学校で環境出前講座を行いました。児童の皆さんは、一生懸命取り組み、大いに盛り上がりました。井上さんが2回目のファシリテーションを行いました。無難にこなされておられ、着実に経験を積んで頂いています。実施後のアンケート結果を見ても、全体的に良い評価を頂きました。先生方にもこのゲームに興味を持ってもらえたようで、ゲームの背景等についての突っ込んだ質問もうけるなど、先生方にも高評価でした。

手作りおもちゃと環境 AT

もったいないバザールにメンバーのほとんどが何かしらで参加し、年齢層幅広く体験していただけたイベントでした。これからもチーム一丸となって活動し、新しいおもちゃの考案含め、幼児向けのおもちゃも考えていきたいです。

紙すき体験と環境 AT

見学後の体験、出前講座をチームで協力して活動しました。牛乳パックは資源ごみとして出しているか、資源ごみで回収していることを市民の方に知ってもらえるように活動していきたいです。

マイ食器啓発 AT

くるくるクリスマスのイベント時にマイ食器持参を呼び掛け、“食品ロス考えたお野菜トッピングポークカレー”を販売しました。マイ食器を持参してくれる方がほとんどで活動を知ってもらえるいい機会になりました。

ロハスフェスタ 2023 秋

マイ食器啓発アクションチーム

マイ食器啓発イベントに参加してきました！

11月10日(金)～12日(日) * 10日は雨天中止 9:30～16:30 万博記念公園東の広場にて開催。今回の秋のロハスフェスタは10月28日の週から3週にかけて開催されました。第3週目の3rdに出展させていただけるということで、提供品の大量のボタンを如何に再利用していただけるか・考えたのは“ボタンのすくい取り”お玉、もしくは小椀ですくい取りをしてもらう。欲しいボタンだけを選んでくれる方もいました。小さいボタンでアクセサリを作るとか、幼稚園での知育に活用するなど購入して下さる方は様々な使い方を考案されていました。

ロハスフェスタはマイ食器持参を啓発しているイベントでもあり、会場で提供している食器はプラザのリユース事業で洗浄・消毒をして出荷しており、そのつながりもあって今回の出展も叶いました。17年も続くこのイベントは「地球環境を考える時間」が当たり前の日常になるよう、継続的に活動していて2023年度“グッドデザイン賞”も受賞されました。



こちらはエコ・リサイクルコーナーで天ぷら油や牛乳パック、古本や紙袋の回収木箱もありました。この木箱を売っているお店もありました。プラザでは多肉植物を木箱で育てています。

このイベントにはごみが落ちていない？
ごみを拾うスタッフの方が巡回していました。



ごみ分別コーナーへ、来場者はしっかりと分けて捨てていました。



マイ食器啓発 AT のメンバーがこの割箸の回収後はどのように処理されるのか？燃やされて処分？気になっているようです…。次回の食器洗浄の依頼の際にでも聞いてみたいと思います。

「みんなの小さなエコをおおきなコエに」
かけがえのないものを大切にする。

LOHAS とは

Lifestyles of Health And Sustainability
の頭文字です。

健康と持続可能な社会に配慮したライフスタイル



マイ食器を持参している方以外はキッチンカーなど、飲食を販売している店舗でカップやお皿、丼を購入して食べる。その使い終えた食器は“マイ食器洗い場”で洗って、再利用するシステムのイベント。スポンジとヤシノミ洗剤がシンクに設置されているので、各自それを使って洗う。



来場者が持参している食器を観察しておりましたが、大きめのタッパーを持っている方が多く、その中にタッパーをマトリョーシカの様に入れて持ってきていました。タッパーはフタができるし、フタはお皿になるので便利だと思います。

マイ食器で持ち歩くならどっち？と題してアンケートをとってきました。フードコンテナかフードバッグか、そんなにたくさんの方に聞くことができませんでしたが…26：2でフードコンテナが人気という結果でした。展示していたフードコンテナはシリコンで折りたためるタイプで、カバンに入れて持ち歩くのには活用しやすいのかなぁと思います。

今回出展させていただいたテントでボタンの他に工房指導員の方が作成した成果品の販売も行いました。テントに立ち寄って下さった親子、

くるくるプラザってどうやって行くのですか？何の施設ですか？など、多くの方に知っていただける機会を作れた、いいイベントでした。

理事長、主担研究員、市民研究員の方々が見学に来てくれました。そもそもこのイベントはSDGsに特化しているので、勉強になることが多く、これいいな、こういうのは喜んでもらえるな、など閃きを得れる2日間でした。



同じ目的を持つ者が集まれば大きな動きになる！次回のロハスフェスタへのご縁はあるか分かりませんが・・何か継続してアクションを起こしていきたいと思っています。食器を購入したものの、持ち帰るのが面倒で捨てて帰る、とか・・。このセカンド品となる食器の使い道はないだろうか？と主催者のシティライフさんが悩んでおられました。何かこのカップやお皿などをアップサイクルして別のモノに生まれ変われやしないか？

そんなことを模索中の今日この頃です。何かいいアイデアがあればご一報ください！



一緒に活動していただける方募集中です(^^) /

《事務局 浅野》

循環型社会を考える

主担研究員 金子 泰純

廃棄洗濯機の解体デモ

11月19日にくるくるプラザで「もったいないバザール」が催された。「かえっこバザール」や「おもちゃ病院」「ワークショップ・展示」などに親子連れ等多くの人でにぎわった。その中で関西リサイクルシステムズ株式会社による廃棄洗濯機の解体に多くの見学者が集まった。

重量 30kg の洗濯機を手際よく女性ひとりで解体していく。すべて部品にバラバラにされてみると 99%は再生資源に、そうできないのはパッキンのゴムだけとなった。重量では鉄が一番だが、嵩では本体の外装・ふた・水槽等プラスチック（ポリプロピレン：PP）が多い。

洗濯機・冷蔵庫・テレビ・エアコンのリサイクルを義務付けた家電リサイクル法ができてから 20 年以上経ったが、当初は 50%ほどであった再商品化率（リサイクル率）が 90%を超えるところまで向上した。解体作業の効率アップのためネジのサイズの統一を図るなど、製造段階からの改善がなされているほか、未だリサイクルできないパッキンのゴムについても研究開発が進められているそうだ。プラスチックも単一素材のものがまとまった量を集めることで再生資源になる。

家電リサイクル法と拡大生産者責任

2001 年に家電リサイクル法が施行されるまでは、粗大ごみとして集められた冷蔵庫等は破碎され埋立地に廃棄処分されていた。同法では、消費者はリサイクル料を負担し、販売店は廃家電を引き取り、家電メーカーは再資源化を担う仕組みとなっている。関西リサイクルシステムズ株式会社は、この再資源化を行うためにメーカーが共同して設立したリサイクル会社で、全国各地域に同様の会社がある。ちなみに洗濯機のリサイクル料金は 2,530 円となっている。家庭からの一般廃棄物を市町村が収集処理するごみ処理サービスとは全く異なる仕組みが稼働し

ている。

家電リサイクル法では、リサイクルしやすい材料の選択、解体しやすい製品設計、再生資源の使用などを生産者に求めている。これは、製品の使用後についても生産者に責任を持たせる拡大生産者責任（EPR）に基づく。

自動車についても自動車リサイクル法により所有者は乗用車で 1 万円ないしそれ以上のリサイクル料金を負担し、車のメーカー、解体業者等がリサイクルを行っている。

プラスチックごみのリサイクル

容器包装プラスチックをはじめ日用雑貨等のプラスチックごみは毎日のように多種多様なものが廃棄される。これを家電製品や自動車と同様に製品ごとに収集処理することは不可能だ。ペットボトルを除きプラスチックごみのリサイクル率はあまり進んでいない。日本では焼却にまわるものが多く、気候変動の原因となる CO₂ が排出される。その量は日本の温室効果ガスの 3%にあたり、無視することはできない。しかしながら、軽くて丈夫でしかも安価なプラスチックは我々の生活になくてはならないものとなっていてこれを全廃することは難しい。

そこで **3R + Renewable** を基本とする「プラスチック資源循環促進法」が 2022 年に施行された。**リデュース**（レジ袋等ワンウェイプラスチックの使用削減）、**リユース**（詰め替え容器の利用等）、**リサイクル**（PET to PET のように再生資源の利用等）に加え、**Renewable**（バイオマスプラスチック、紙等再生可能資源による製品に代替）を基本とし、生産者・販売事業者等、消費者、市区町村の役割を定めている。詳しくは環境省の HP* をご覧いただきたいが、循環型社会を目指し、マイバッグ・マイボトルに止まらず一層の協力が消費者にも求められている。

* <https://plastic-circulation.env.go.jp>

市民研究所通信

第8回環境啓発動画コンテスト

⇒令和6年 年明けに授賞作品を発表します！

次の時代を牽引していく若い世代が、環境問題に対して自分なりに考え、行動できるようになることは、未来の環境を考えていく上で大切なことです。そこで「環境問題について一人一人が考え、行動しよう！～地球温暖化、食品ロス、プラスチックごみ問題から～」をテーマとして、環境啓発動画コンテストを実施しています。若い世代にたくさん参加してもらい、自ら進んで地球温暖化をはじめ、食品ロス、プラスチックごみ問題など、様々な角度から環境問題について考え、行動してもらうことをねらいとしています。

コンテストも今回で8回目になりますが、事業立ち上げ初期のころは、作品が集まらず、応募期間を延長したこともありましたが、しかし、年々応募数が増え、しかも幅広い年代（第8回では9歳～79歳）の方々からの応募をいただいています。また、北は北海道、南は九州からの応募があるため、授賞式はZoomでも出席していただけるようにしています。

第8回は96の応募作品があり、1次選考作品として20作品を選びました。（公財）千里リサイクルプラザのホームページに令和5年11月17日から12月16日の期間、公開して人気投票を行いました。その結果を含めて、専門家と最終審査を行い、授賞作品を令和6年の年明けに発表します。

なお、選考基準は以下の通りです。

- ① 「環境問題について、一人一人が考え、行動しよう！」について提案できているか？
- ② 年齢を問わず、興味を引くことができるか？
- ③ 独自性があるか？以上3観点から作品を選考しています。

それでは、以下に第8回1次審査通過作品の一部を紹介します。



「一滴の価値」



「ポイ捨て太郎の冒険」



「海とゴミの物語」



「プラごみの多い料理店」



「捨て野菜」



「元の美しい自然へ」



「幼いコアホウドリの短い夏」



「プラスチックごみから海を守ろう」

表彰式は2月18日（日）11：00～12：00を予定しています。式のご案内を応募者全員と市民研究員、環境スクール生にもメールでご案内する予定です。授賞作品への講評や応募作品全体の講評を行う予定ですので、多くの方々のご参加をお願いいたします。（プラザ事務局）

研究所 1 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	月	休館日		
2	火	休館日		
3	水	休館日		
4	木	1/6 10:00~12:00 市民研究員研修講座③もあります。		
5	金			
6	土	第10回代表者会議/ つながり広場	13:15~ プラザ講義室	主担・代表者・事 務局
7	日	定例会	13:00~工房3	手作りおもちゃと 環境AT
8	月	休館日		成人の日
9	火	休館日		振替休館
10	水	環境出前講座(クラブ支援)	千里丘北小学校	SDGs啓発PT
11	木	定例会 10:00~ ごみゼロシステム研究PT		
12	金			
13	土	定例会	12:00~ 北千里公民館	身近な環境を調 べようPT
14	日			
15	月	休館日		
16	火	定例会	14:00~ 情報スタジオ	SDGs啓発PT
17	水			
18	木	次年度に向けて 各チームヒアリング	10:00~ プラザ講義室	代表者・事務局
19	金	定例会 14:00~ 紙すき体験と環境AT		
20	土	定例会	10:00~ プラザ講義室	市民とお店をエ コでつなぐPT
21	日			
19	月	休館日 環境出前講座(クラブ支援)	藤白台小学校/千 一小学校	市民とお店をエ コでつなぐPT/手 作りおもちゃと 環境AT
23	火			
24	水			
25	木			
26	金			
27	土	第11回代表者会議	13:15~ プラザ講義室	主担・代表者・事 務局
28	日	定例会	13:00~工房3	手作りおもちゃと 環境AT
29	月	休館日		
30	火			
31	水	環境出前講座(クラブ支援)	吹一小学校/ 山二小学校	手作りおもちゃと環境 AT/紙すき体験と環境 AT

定例会 10:00~ ごみゼロシステム研究PT

研究所 2 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	木			
2	金			
3	土	環境教育フェスタ/ 環境学習発表会	10:30~15:30 プラザ	
4	日			
5	月	休館日 環境出前講座(クラブ支援)	千里第一小学校	市民とお店をエ コでつなぐPT
6	火			
7	水	環境出前講座(クラブ支援)	吹一小学校/ 山二小学校	市民とお店をエ コでつなぐPT/ SDGs啓発PT
8	木			
9	金	研究運営委員会	14:00~ プラザ講義室	役員・主担・市民 研究員・事務局
10	土			
11	日	休館日		建国記念の日
12	月	休館日		振替休日
13	火	休館日		振替休館
14	水			
15	木			
16	金			
17	土			
18	日	環境啓発動画コンテスト 表彰式	11:00~12:00 プラザ	Zoom
19	月	休館日 環境出前講座(クラブ支援)	藤白台小学校/千 一小学校	手作りおもちゃと環境 AT/市民とお店をエ コでつなぐPT
20	火			
21	水			
22	木			
23	金	休館日		天皇誕生日
24	土			
25	日			
26	月	休館日		
27	火			
28	水			

は、資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。